様式第4のル (第4条、第5条関係)

(表) 移送取扱所構造設備明細書

1	l l
事業の概要	
地上設置有・無方溶	法
地 下 設 置 有 · 無 配 機	器
道路下設置有・無材	料
線路下設置 有·無 管 伸縮吸収措置の	の方法
管 河川保全区域内設置 有・無 防 装装 塗	装材料
a	装材料
の 海 底 設 置 有・無 の 覆 防食被覆	の方法
道路横断設置 有 • 無 戴地電位	平均值
2 路 傾 断 設 直 有 · 無 線 路 下 横 断 設 置 有 · 無 諸 気 電位測定端	岩子間隔 km
河川等横断設置 有・無 関 防食の	種類
専用隧道内設置 有・無 元 加熱又は加温	引設備 有 ・ 無
置 不等沈下等のおそれ 有・無 漏えい拡散防」 のある場所への設置 有・無 の方法	上措置
橋への取付け設置 有・無 運転状態の監視	見装置要・不要(有無)
延 長 km R 配管系の警報	最装置 要・不要(有無)
	装置 要・不要(有無)
	装置 要・不要(有無)
管 管 材 料 安 圧力安全装置の	の材料
条 数 条 漏えい検知	装置要・不要(有無)
	測定秒
諸 弁 の 材 料 設 た 装 検 置 間隔	器設置 km
管 溶接管継手材料 漏えい検知口設	置間隔 m
ニー フランジ式継手 #	断 弁 要・不要(有無)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(裏) 移送取扱所構造設備明細書

				1/ *			11 / 1/11	-			
保	危	〕 険物除	去 装 置	要・不要	(有無)		- 0	種類・型式			
	感	震 装	置等	要・不要	(有無)		ポン	全 揚 程			m
	感	感震装置	置設置間隔		kn	ーポ	プ	吐 出 量			kl/時
	感震装置等	強震計	設置間隔		km	-		基数			基
			性 能					壁			
	通	報	設 備	要・不要	(有無)			床			
	数音	警報装置の種類				ン	ポ	柱			
安	化	二学 消 防	自動 車	要・不要	(有無)		ンプ室の構造	はり			
設	化学消防自動車等	化学消防 自動車	台 数		台			屋根			
			設置場所			プ		窓			
		巡 回 監視車	台 数		台			出入口			
			設置場所			- - - 等		階数			
		資機材倉	庫設置場所			一寺		建築面積			m²
		資機材置	場設置間隔		km	ı		延べ面積			m²
	予備動力源の容量						ŀ	プロ扱い装置	7	有・無	Ę
備	保	保 安 用 接 地		有 •	無						
	標識等	位置標語			m	一段					
			示設置間隔		m						
		注意標詞									
その他必要な事項											